

## 「新しいALTの先生に日本文化を紹介しよう！」

## 挑戦問題「新しいALTの先生にインタビューをしよう！」

## 本単元で育成する資質・能力

情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 知識・技能 協力・協働 責任・使命 感謝・貢献

## 1 単元で目指す学ぶ姿

日本の伝統文化について理解を深め、それを世界に発信することについて関心を高めるとともに、自分たちの学んだことを活用し、外国人の関心・興味に合わせて会話を広げながら日本の文化を紹介しようとする姿。

## 【評価方法】

授業観察及びワークシート、提出物等、生徒には、次の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。

<単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

現指導要領	資質・能力	評価	評価基準
言語や文化についての知識・理解	知識・技能	S	日本の文化について伝えながら、相手の興味に合わせて会話を広げることができる。
		A	日本の文化について伝えながら、会話を広げることができる。
		B	日本の文化について伝えることができる。
		C	日本の文化について伝えることができない。
外国語理解の能力	情報収集 判断	S	目的に応じて適切な手段を選択し、より深い情報を収集することができる。
		A	目的に応じて適切な手段を選択し、必要な情報を収集することができる。
		B	課題に関する情報収集をすることができる。
		C	課題に関する情報収集をすることができない。
外国語表現の能力	思考 表現	S	情報を整理・分析し、相手の興味に合わせて自分の考えを工夫して表現できる。
		A	情報を整理・分析し、相手にわかるよう自分の考えを表現できる。
		B	情報を整理し、表現することができる。
		C	情報を整理し、表現することができない。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	挑戦 探究	S	課題を探究し、さらにいろいろなことに挑戦できる。
		A	課題に見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
		B	課題に取り組もうと努力することができる。
		C	課題に取り組むことを途中であきらめている。
	責任 使命	S	自分の立場や責任を理解し、積極的に課題を遂行できる。
		A	自分の立場や責任を理解し、課題を成し遂げる。
		B	自分の立場や責任を理解し、課題に取り組むことができる。
	協力 協働	S	話し合いや活動で協力し、それぞれの意見や力を生かし、課題を解決することができる。
		A	話し合いや活動で協力し、課題を解決できる。
		B	話し合いや活動で協力できる。
	感謝 貢献	S	日本の文化の良さや伝統を外国の人に積極的に伝えたいと思うことができる。
		A	日本の文化の良さや伝統を機会があれば外国の人に伝えたいと思うことができる。
		B	日本の文化の良さや伝統を理解することができる。
		C	日本の文化の良さや伝統を理解することができない。

## 2 カリキュラムデザイン

**貫きカリキュラム** AL Tの先生や外国の人に日本文化について紹介する挑戦問題を1年生次から系統的に設定し, 実践的なコミュニケーションの場面で習得した知識・技能を活用する喜びを, 次の探究活動への意欲・関心につなげるようにした。



### 3 単元について

#### (1) 生徒観

本学級の生徒は、ペア活動・グループ活動等の少人数での活動型授業に積極的で、授業の大部分を協働学習で進めている。2年生次に行ったアンケートでは、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話している」という質問に対して72.2%の生徒がよくあてはまると回答しているが、「相手からの依頼や質問を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしている」という質問によくあてはまると回答した生徒は61.1%、「英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くとともに、文と文のつながりに注意している」という質問によくあてはまると回答した生徒は、55.6%となっている。

このことから、授業でより実践的に話す機会を増やし、相手の求めていることを意識して話したり正しく書いたりする場面を設定する必要がある。

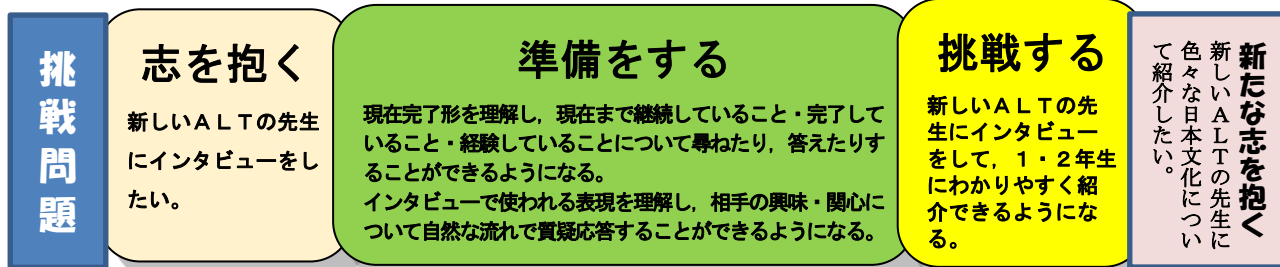
#### (2) 単元観

この単元では、1年生次の総合的な学習の時間で身に付けた落語の話題から日本の伝統文化について学ぶことの意義を考えさせ、2年生次に、来日したALTの家族のために、自分たちの町の名所・観光地を紹介した経験を生かしながら、相手の興味・関心に合わせて日本の伝統文化について紹介するとともに、世界へ発信する表現力を培っていくことをねらいとしている。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、次の5つのポイントで授業改善をすすめる。

#### ① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



英語で落語を行っている大島希巳江さんを扱った単元の導入で、落語の写真からジェスチャーの意味を予想させ、自分たちが1年生次に学んだ落語についてのポイントを挙げながら、英語で落語を披露することの意義を考えさせる。そして、来日した外国の人にこれまで地域や日本の食文化等について紹介してきた経験を生かしながら、新しいALTの先生にインタビューをしてよく知りたいという志を抱かせ、挑戦問題「新しいALTの先生にインタビューをしよう！」を提示する。

挑戦問題を受け、この問題を解決するためには、どのような質問でインタビューを進めると相手の興味や関心を引き出すことができるか、いろいろな表現の使い方や順序を考えるためにこれからの学習内容（lesson 3）が役立つことを伝え、インタビューや日本の伝統文化を紹介するに向けて使える表現を見出すことが、問題解決に必要な準備であることに気付かせる（課題発見）。さらに、新しいALTの先生をインタビューした後、1・2年生に紹介する機会を設定し、自分たちがインタビューする場面だけでなく、他のグループがインタビューをしているときの表現を理解し、書き取ることの必要性や協力・協働の重要性を身に付けさせるとともに、問題解決の力を育てる。

また、挑戦課題で挑戦・探求することによって得た喜びや達成感から、外国語を通してコミュニケーションをとることへの関心・意欲・態度を育成し、今後の発展問題として、新しいALTの先生の興味・関心に合わせて、自分たちの学んできた日本の伝統文化について紹介する場面に結びつけた問題解決へつなげたいと考える。

#### ② 振り返り時間（5分）の充実

インタビューをする場面で役立つ表現を習得させるために、振り返り時間（5分）を確保する。振り返りを通して、使いたいその他の表現を（課題発見）を引き出し、自学自習や次の授業につなげていく。

#### ③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

授業前に取り組む短時間の復習ワークシートを準備し、自ら学習を開始する習慣の定着を試みている。授業の後半には、次の時間に行うゲームや発表の活動に合わせて必要となる語句や表現のワークシートを予習課題とし、授業中生徒が知りたいと思ったことについては、自分で調べて発表する機会を設けるように工夫している。

#### ④ ワークシート・ノート指導の工夫

授業展開は、ペア・グループでの活動を基本にして問題解決の過程を共有するようにしている。ワークシートは時間設定を行い、ゲーム的要素の強い取組やコミュニケーション活動につながるものを多く取り入れて、ノート作成では、自分で辞書等を使って調べたことを大きく評価する。また、長期的な取組となる課題設定であるため、本単元でつけたい「資質・能力」を明記した役立つ表現をまとめるワークシートを作成し、振り返りや予習課題を確認する時間を確保する。

#### ⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

### 4 単元の目標

- ・日本の伝統文化について理解を深めるとともに、それを世界に発信することについて関心を高める。
- ・現在完了形（完了用法・経験用法）を理解し、使う。
- ・英語落語についての意見文（インタビュー）を読む。
- ・詳しい説明を求めて、会話を広げる。
- ・新しいALTの先生の先生にインタビューをする。

### 5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>聞き手が理解しやすいように工夫してインタビューをしようとしている。【挑戦・探究】</p> <p>間違ふことを恐れず、聞き取った内容を書き取り、まとめようとしている。【責任・使命】【協力・協働】</p> <p>日本の伝統文化およびそれを世界に発信することについて関心をもっている。【感謝・貢献】</p>	<p>自分たちの尋ねたいことについて聞き手に正しく伝えることができる。</p> <p>自然な流れで会話をつなげ、詳しい説明を求めたり広げたりすることができる。</p> <p>わかりやすくプロフィールを作成し、紹介できる。【思考・表現】</p>	<p>まとまりのある英文を読み、その概要・要点を理解することができる。</p> <p>インタビューの質疑応答を理解することができる。【情報収集・判断】</p>	<p>現在完了形（完了用法・継続用法）の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>インタビューの流れを理解している。【知識・技能】</p>

6 指導と評価の計画 (全12時間)

時	学習内容	評価 (○は主に「指導に生かすための評価」、●は主に「記録するための評価」)				評価規準 (評価方法)	★適用する 資質・能力の評価
		関	表	理	知		
1 本時	<p>○Lesson 3 の Part 1 の内容を読解し、現在完了形 have+過去分詞の完了用法「ちょうど～したところです。」を理解し、使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の現在完了形 (継続用法) を確認する。</li> <li>新出の現在完了形 (完了用法) を理解する。</li> </ul> <p>○落語を行うときのポイントを日本語で挙げる。</p>						
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>単元課題</b> 「新しいALTの先生に日本文化を紹介しよう！」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p><b>課題の設定</b></p> </div> <p>(めあて) ○落語を演じるときのポイントについて英語で説明しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p><b>情報の収集</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>落語を演じるときのポイント説明を英語動画で見る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p><b>整理・分析</b></p> </div> <p>(まとめ) 英語動画の説明を参考にして落語を演じるときのポイントを英語で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートを書く。</li> </ul> <p>(予習課題) 次の Part 2 に落語について英語で説明されている部分があることを伝え、英語で落語についての説明をまとめる。</p>			○	<p>(理解) ●落語を演じるときのポイントを動画の表現を使って書くことができる。(ワークシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>	
				○	<p>(知識) ○「ちょうど～したところである」という表現を使うことができる。(ワークシート)</p>		

2	<p><b>課題の設定</b></p> <p>(めあて) ○落語について英語で説明しよう。 ・本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</p> <p><b>情報の収集</b></p> <p>・予習課題でまとめてきた落語についての英語説明を発表する。</p> <p><b>整理・分析</b></p> <p>・発表した表現をわかりやすくまとめ、説明できるまで覚える。</p> <p><b>挑戦課題の設定</b></p> <p>・新しいALTの先生に紹介する日本の伝統文化を選ぶときに大切なことは何かを考える。 ・新しいALTの先生がどのようなことに興味・関心があるかを知らなければならないことに気付かせる。</p> <p><b>挑戦課題 1</b> 「新しいALTの先生にインタビューをしよう！」</p> <p>・本単元の目標をワークシートの資質・能力ルーブリックで理解する。</p> <p><b>まとめ</b></p> <p>・落語について英語で説明できるかをペアで確認する。 ・振り返りシートを書く。 (予習課題) 次の Read にインタビューが掲載されていることを伝え、ALTの先生へのインタビューで使うことのできる表現に下線を引く。</p>	○	○	○	○	<p>(理解) ●落語について説明されている部分を読み取り、まとめることができる。(発表・ワークシート)</p> <p>(関心・意欲・態度) ○挑戦問題の解決へ意欲をもつことができる。(振り返りシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>
	<p><b>課題の設定</b></p> <p>(めあて) ○インタビューで使える表現を覚えよう。 ・本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</p>						

<p>3 5 6</p>	<p><b>情報の収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題で下線を引いたインタビューに使える表現を発表する。</li> <li>Read を読解する。</li> <li>現在完了形の経験用法を理解し、使う。</li> </ul> <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話を広げよう（詳しい説明を求める）を覚える。</li> <li>Project 1 「先生にインタビューをしよう」の表をまとめる。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <p>(まとめ) インタビューでの話題や質問について意見を述べる。 インタビューのときに大切なことを確認し、どのような質問を行うか考える。 (復習課題) インタビューでする質問をワークシートに挙げる。</p>			○	<p>(理解) ○インタビューの内容を読んで理解することができる。</p>	
7	<p><b>課題の設定</b></p> <p>(めあて) ○どのような流れでインタビューを進めるとALTの先生の興味・感心を知ることができるだろうか。 ・本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</p> <p><b>情報収集</b>      <b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合う。</li> <li>意見を発表する。</li> <li>グループの担当と順序を決める。</li> <li>グループで質問と流れを考える。</li> <li>個人の分担を行う。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <p>(まとめ) つなぎ言葉や質疑の流れを考えて臨機応変に対応できるように準備する。 (予習課題) 自分の担当部分についての英語表現をまとめ、覚えてくる。</p>			◎	<p>(関心・意欲・態度) ○人の意見を参考にしながら自分の意見を述べ、話し合うことができる。(観察・振り返りシート)</p> <p>(関心・意欲・態度) ●自分の担当内容に合わせて表現をまとめることができる。(ワークシート)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (ワークシート)</p> <p>★【責任・使命】 (ワークシート)</p>
	<p><b>課題の設定</b></p> <p>(めあて)</p>					

8 ・ 9	<p>○AL Tの先生の興味・関心が引き出せるインタビューをして、まとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</li> </ul> <p><b>表現・創造</b>      <b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力しながらインタビューをする。</li> <li>・他のグループのインタビューを聞いて書き取る。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き取れなかった部分やわからなかった部分についてグループで相談する。</li> </ul> <p>(復習課題)</p> <p>書き取った内容を参考にして個人でプロフィール原稿を作成する。</p>		◎		<p>(表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相手の関心に合わせてインタビューし、会話をつなげることができる。</li> </ul> <p>(理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○インタビュー内容を聞いて書き取ることができる。(ワークシート)</li> <li>(関心・意欲・態度)</li> <li>○人の意見を参考にしながら自分の意見を述べ、話し合えることができる。(観察・振り返りシート)</li> </ul>	<p>★【思考・表現】 (振り返りシート)</p>
10 ・ 11	<p><b>課題の設定</b></p> <p><b>単元課題</b></p> <p>「1・2年生に新しいAL Tの先生を紹介しよう！」</p> <p>(めあて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しいAL Tの先生のプロフィールを作成して発表しよう。</li> <li>・本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</li> </ul> <p><b>表現・創造</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに紹介する。</li> </ul> <p><b>整理・分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロフィールと発表内容を評価する。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表グループは発表内容を改善し、1・2年生への紹介に向けて練習する。</li> </ul>		◎		<p>(表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●まちがうことを恐れず、聞き手にわかりやすいように紹介することができる。(発表)</li> </ul>	<p>★【思考・表現】 (発表)</p>
12	<p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○英語で落語に挑戦しよう！</li> <li>・時そばを理解する。</li> </ul> <p>(復習課題)</p> <p>時そばを覚える。</p>			○	<p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○英語の落語を理解できる。</li> </ul>	



7 本時の学習（1時間目／全12時間）

- (1) 本時の目標 落語を演じるときのポイントを英語で説明できる。  
 (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（┌───┐）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。(15分)</b></p> <p>○英語落語に誘う場面で現在完了形の既習用法の復習と新出用法の導入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ have + 過去分詞「ずっと～しています。」という現在完了形の継続用法を確認する。</li> <li>・ 「ちょうど～したところです。」という現在完了形の完了用法を理解する。</li> </ul> <p>○落語について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落語の写真で何をしているジェスチャーかを答える。</li> <li>・ 落語のポイントについて挙げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の流れから have + 過去分詞「ずっと～しています。」の意味を確認させる。</li> <li>・ just の意味を確認し、「ちょうど～したところです。」の完了用法を理解させる。</li> <li>◆デジタルテキストで視覚支援をする。</li> <li>・ 落語の写真で1年生次に落語について学んだことを復習しながら、積極的に英語を使って確認し、挑戦課題への意欲につなげる。</li> </ul>	
<b>単元課題 「新しいALTの先生に日本文化を紹介しよう！」の提示</b>		
<p><b>課題の設定</b></p>		
<p>めあて 「落語を演じるときのポイントを英語で説明しよう」</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</li> </ul>		
<p><b>情報の収集</b></p>		
<p><b>2 落語についての英語の説明を動画で見る。(15分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちの挙げた落語を演じるときのポイントが動画で説明されていたかを確認する。</li> <li>・ 動画について理解できているかをペアで確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表内容から動画の英語説明を理解できているか確認する。</li> <li>┌───┐ ・ ペアで動画の説明を確認させ、理解を深める。</li> </ul>	<p>○（外国語理解） 動画の落語説明を見て、落語の特徴を英語で説明することができる。（ワークシート）</p>
<p><b>整理・分析</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解できた部分について発表させる。</li> </ul>	<p>★思考・判断・表現 ルーブリック S 動画の表現だけでなく自分で考えて落語の特徴を説明することができた。</p>
<p><b>3 落語についての英語の説明を確認する。(10分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画の説明を発表して共有し、自分たちの説明を英語で付け加える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>┌───┐ ・ 動画の流れに合わせて板書し、動画で確認するときの支援にする。</li> <li>・ 動画を見る前に自分たちが挙げたポイントを英語で付け加える。</li> <li>・ 説明の流れを考える。</li> </ul>	<p>A 落語の特徴を動画の表現を使って説明することができた。 B 落語の特徴を動画の表現を使って部分的に説明することができた。 C 落語の特徴を説明することができなかった。</p>
<p><b>まとめ</b></p>		
<p><b>4 本時のまとめを行う。(5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめて「ちょうど～したところです。」という表現を使う。</li> </ul>	<p><b>生徒のまとめ例</b> 着物を着て扇子を使いながら演じる。上手・下手で役を演じ分ける。</p>	
<p><b>5 本時を振り返り、次時につなげる。(5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りシートを書く。</li> <li>・ 予習課題を知る。</li> </ul>	<p>（予習課題） 次の Part 2 を読んで、落語について説明されている部分を付け加え、流れを考えながらまとめる。</p>	<p>○（知識・理解） 現在完了形の用法を理解し使うことができる。（ワークシート）</p>

